

災害に強い

5 まちづくりへ向けて!



「午前9時和歌山県南方沖を震源とする地震が発生。愛南町では震度6弱を観測」との想定で、「愛南町総合防災訓練」が行われ、陸上自衛隊第14旅団、愛媛県、宇和島海上保安部、愛南警察署、愛南町消防署、内海地域住民や柏小学校児童及び教職員、地元消防団など総勢約千名が参加しました。

「総合防災訓練」は2年に一度実施しているもので、避難、情報収集・伝達、救出救護、消火・復旧、救援物資供給など、地震発生を想定した総合かつ実践的な訓練を通じて、今後の防災活動に役立てるために行っています。

8/29 防災フォーラム

「ともに生きるやさしいまちへ」

今年の防災フォーラムは、「ともに生きるやさしいまちへ」をテーマに、「新たな防災文化の創造に向けて・阪神・淡路大震災からの教訓」と題した中杉隆夫前兵庫県立姫路西高等学校長の基調講演や、災害時の人的被害を最小限に抑えるための要援護者支援体制の構築をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションでは、災害時要援護者支援体制の構築にあたっての問題点や地道な取組みの必要性が指摘され、体制の確立と共に「命を考える」「人としての生き方を考える」ことの重要性が訴えられました。



お知らせ

愛媛大学防災情報研究センターでは防災に役立つ情報をメールで配信しています。配信を希望する方は、件名に「メルマガ希望」と記入の上、info@dm.shime-u.ac.jp メールを送信してください。